

つうゆうだよい

NO.1

子ども同士で遊ぶ

管理者 小野基司

7月に開設したチャイルドステーションつうゆうの営業は早3か月弱が過ぎました。ご利用いただいている皆様に心より感謝申し上げます。

子どもはみんな子ども同士で遊ぶのが好きですね。そういう様子がつうゆうで見られます。小学校中学年以上だと、職員をチラッとは見ているでしょうが、とにかく自分たちで遊ぶことにまっすぐ向かっていきます。年少の子どもであれば、年上の子どもたちがすることを見て学んでいきます。小学校高学年になると、自分たちのことは自分たちで決めて全く自主的な活動をします。これは発達する上でとても大切なことです。ルールを学んでいきます。自分をコントロールする力をつけます。お互いに学んでいきます。なによりも、楽しいので満足できます。満足できるとあれやこれやと不平を言うことが少なくなっています。こんなにうまくはいかないでしょうが、とにかくつうゆうでは子ども同士で遊ぶ姿があります。これは、子どもたちが放課後に過ごす本来の姿だと思います。

チャイルドステーションつうゆうは、子どもそれぞれの特徴に応じた専門性の高い支援を目指します。同時に、このように、子どもたちが自然に持つ要求も大切にしていきます。

子どもたちの活動紹介

つうゆうでは夏休みや普段の利用日に様々な活動が行われ、子どもたちが元気に過ごしていました。その様子を写真で紹介します。



男鹿水族館GAOの見学



県立博物館の見学



環境と文化の村で作品作り



学校の宿題



プランターの水やり



プラレール



白板に絵描き

つうゆうだより

言語聴覚士による言語支援について

チャイルドステーションつうゆうでは、令和7年7月15日から幼児・児童・生徒を対象に言語聴覚士による個別の言語支援を行っております。現在、利用者は2歳から中学生までの22名です。言語支援のみの利用をはじめ、つうゆうでの児童発達支援や放課後等デイサービスでの預かり中の言語支援も可能です。

また、言語支援前後には、児童指導員による個別や集団遊びの中での発達支援も行っています。他者（児）への関わりや気持ちの調整・切り替えの学び途中のお子さんに、遊びや視覚支援等の適切な関わりを通して「他者（児）へのことばの使い方を学ぶ」「無理なく言語支援へ導く」「穏やかな気持ちで帰る」工夫を行っています。



〈言語支援の対象と内容〉

個別支援の様子

- ・1回30分～45分の個別支援を行います。内容について支援後にお話をする時間を設け、ご家族との情報共有を行います（預かり利用中は「おたより」に内容を記載）。
- ・ことばの発達に関する支援：ことばが出てこない・増えてこない、ことばは理解できているようだが発話につながらない、文でお話できない等
- ・お口の発達や発音に関する支援：感覚過敏により偏食がある・噛んで食べない、うがいができるない、赤ちゃんことばが抜けない、特定の発音が出せない、歌が苦手等
- ・コミュニケーションに関する支援：おしゃべりは上手だが、友達や大人とのやりとりが増えない・会話がかみ合わない、状況や場の理解が難しい等
- ・その他：手先の不器用さや遊び、漢字・仮名の読み書き・計算の習得が進まない等

※ 「ことばと関係が無いかな」と思うようなことでも、気になることがありましたら、遠慮なくお声掛けください。

楽しかったサツマイモ掘り体験

10月2日（木）の午後、潟上市飯田川にある畑にサツマイモ掘り体験に行ってきました。イモの種類は「紅はるか」。大きいイモで、時間をかけて掘り進めて収穫。楽しくワクワクしたひと時でした。



サツマイモ掘り体験の様子

つうゆうだより

NO.3

ハロウィンの飾りつけをしました

チャイルドステーションつうゆうでも、クリスマスツリーを利用して子どもたちと一緒にハロウィンの飾りつけをしました。子どもたちが自分の作品を飾ることで、玄関を楽しく明るく彩りました。



お誕生児童へのつうゆうからのプレゼントについて

つうゆうでは、日常の様子を写真に記録しています。その一部をパネルに貼ってプレゼントしています。どうぞ、ご家族でご覧ください。

おやつの提供について

つうゆうでは、放課後の時間を楽しく、安心して過ごしていただくために活動の一環としておやつの時間を設けております。

- 市販のお菓子を1日1回提供します。
- 1回（¥100）です。利用料と一緒に集金します。

※ ご家庭からお持ち込みいただく場合は、事前にご相談ください。

感染症対策について

季節の変わり目を迎え、風邪やインフルエンザ、新型コロナウイルス、胃腸炎などの感染症が流行しやすい時期となっております。

事業所では、引き続き下記のような感染症対策を行っています。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ① 手洗い、うがい、手指消毒の徹底 | ② 室内の換気、清掃、消毒の強化 |
| ③ 職員の体調管理、検温の実施 | ④ 体調不良の児童が出た際の速やかな対応 |

ご家庭でも、感染症予防のために下記のようなことについてご協力くださるようお願いいたします

- ① 少しでも体調がすぐれない場合や感染症が疑われる場合(せき、のどの痛みなどの症状があるときなど)は、無理な利用をさせていただき、医療機関の受診をお願いいたします。
- ② 医師から感染症と診断された場合は、必ず事業所にご連絡ください。
- ③ 完全に回復し、集団生活に支障がない状態となってから利用していただくようお願いします。
- ④ 感染予防のためマスクの着用を呼び掛けているので、マスクを持たせてくださるようお願いします。

皆様が安心してご利用していただけるよう、今後も感染予防に努めてまいります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

チャイルドステーションつうゆう (連絡先) 070-3770-7722

つうゆうだより

NO.4

クリスマスツリーをいただきました

チャイルドステーションつうゆうの玄関にあるクリスマスツリーは、ホームページをご覧になったという地域の方からご寄付いただいたものです。

背丈よりも大きいツリーに驚いた子どもたちは、笑顔いっぱいに飾り付けを楽しみました。事業所の玄関は一気にクリスマスの雰囲気に包まれ、子どもたちにとっても季節を感じるステキな時間になっています。

すばらしいツリーをご寄付いただき、ありがとうございました。



飾り付けの様子



完成したツリー



親子で作ったフラ
ワーアレンジメント

つうゆうのサンタクロースからのプレゼントの紹介



クリスマスと言えばプレゼント。つうゆうから、ささやかですが、クリスマスプレゼントとして絵本とリースの形をした和菓子をお渡しします。ご家庭でも親子で絵本に触れる時間を楽しんでいただけるうれしいです。

ある日のこども… 「水色が好きな理由」

普段は口数の少ないお子さんが遊んでいるとパッと青色のおもちゃを手にしたので、「青色好きなの？」とスタッフが聞くと、少し考えてから「空が好きだから、水色が好き」と教えてくれました。その一言にスタッフも思わずほっこり。お子さんの優しい気持ちや豊かな感性が感じられる場面でした。

雪が降り外遊びのできない季節となりましたが、つうゆうでも雪遊びが好きなお子さんのために活動の中に雪遊びを取り入れていきたいと思っています。



年末年始

いよいよ年末年始を迎えます。子どもたちにとっても、楽しみな行事やご家族との時間が増える季節ですね。寒さが厳しくなりますので、体調管理には十分お気をつけください。年明けに、元気な子どもたちの笑顔に会えることをスタッフ一同楽しみにしています。

本年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。



つうゆうだより

NO.5

年頭にあたって

～手前味噌かな?～

管理者 小野基司

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年の春ごろから偶然に偶然が重なるようにして、チャイルドステーションつうゆうのスタッフがそろい、7月に開設しました。飯田川にあるチャイルドステーションゆうゆうに続いて2号店になります。長い間2号店を開設したいと思っていました。念願の開設でした。

専門性がある支援をしたいと思っていました。世の中には有効だと言われている方法があります。それらを活用すれば、つうゆうを利用する子どもと家族の大きな力になれると考えていたのです。

実際に開設して、この事業所の雰囲気が明るいことがなにより一番だと思っています。専門性なの何なのと言っても、暗い雰囲気のところには人は来ませんよね。

子どもさんにとっては、専門性がどうのこうのというよりも、「つうゆうに行ったら楽しかった」「安心できた」「また行きたい」ということが大切です。子どものやりたいことをできるようにすると、子どもは満足するだろうし支援はスムーズです。これを活用します。しかし、それだけで子どもが将来困らないような力を身についていけるかというと、やはり、そうはいきません。そこで、なんとか大人が考えているように子どもを動かしたくなるのです。でも、大人がやってほしいと思っていることはいやがるし、やってほしくないと思うことをやり続けるのが子どもです。そこで怒らずあきらめず、子どもの気持ちに沿いながらじょうずに誘導できるかどうかが決定的に重要です。つうゆうのスタッフにはこれができるのではないかと思っています。あまり手前味噌だったかな?

冬休みを終えて

新しい年が始まり、子どもたちは、元気な笑顔で来所してくれています。

冬休み明けで少し生活リズムが変わる時期ですが、放課後の時間を落ち着いて過ごせるよう、一人ひとりの様子に合わせて支援を行っています。

冬休みの様子を少し紹介します。子どもたちは、宿題に集中して取り組んだり、友達や職員と一緒に遊んだりしながら、毎日元気に過ごしていました。お弁当の時間は、会話もはずみ、笑顔あふれるひとときとなりました。 冬休み中は、お弁当のご準備ありがとうございました。

寒い日が続いておりますので、体調管理にも気を付けながら子どもたちが安心できる居場所となるよう心がけていきたいと思います。

なお、体調がすぐれずお休みされる場合は、分かり次第早めに連絡いただけますと助かります。



スライム作り



楽しいランチタイム



つるしひなをイメージしたお正月飾り



干支(えと)のイラスト